

広報大洲

きらめき創造  
—あどめあひ—

大洲市  
きさきあろ

— 胆川流域都市 —

# 大洲

おいしいよ。あ〜んして。

2013  
No.97

2

# がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

長浜中学校3年（現：長浜高等学校1年）

松下 映里奈 さん



私は今、高校から始めたダンスに力を入れていきます。松山にあるダンススタジオに週2回通っていて、将来は、多くの人に知ってもらえるダンサーになりたいと思っています。

高校では生徒会に入り、あいさつ運動など積極的に活動しています。生徒会での活動を通して感じることは、長浜高校は生徒同士だけではなく、生徒と先生のコミュニケーションが上手くとれている学校だということです。また、長浜高校は、「長高水族館」として有名で、私の自慢です。

高校生になり、挑戦したいことがたくさんあります。何事も継続が大切だと思っているので、これから今まで続けてきた習字をはじめ、勉強やダンスに励んでいきたいです。

## 2月の納税など

納期限は2月28日(木)です

税 別	2月	3月	4月	5月
市 県 民 税	5期			
固 定 資 産 税			1期	
軽 自 動 車 税				全期
国 民 健 康 保 険 税	8期	9期		

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を！

## 現在の大洲

人の動き(先月比)		交通事故(昨年同期)	
人口	47,514人 (-27)	件数	169件(201件)
男	22,569人 (-7)	死者	1人(2人)
女	24,945人 (-20)	負傷者	204人(256人)
世帯数	20,284世帯(-19)		

(2012年12月末現在)

## CONTENTS 目次

2ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
3ページ～	図書館に出かけよう ～かけがえのない 一冊の本との巡り会い～(特集)
8ページ～	シリーズ
10ページ	まちのわだい
11ページ～	おおずニュース
14ページ～	おしらせ
25ページ～	図書館・保健センター・ 心と体の健康ガイド
28ページ	がんばるひと(竹友会)

## 今月の表紙

picture 写真



1月4日(金)、七草がゆ歩こう会の取材で、厳しい寒さの中、ある親子連れに出会いました。

お母さんが熱いおかゆをフーフーして冷まし、スプーンで赤ちゃんの口に運ぶと、赤ちゃんがおかゆをパクリ。寒さも吹き飛ば、温かくて微笑ましい光景でした。

(10ページに関連記事)



# 図書館に出かけよう かけがえのない一冊の本との巡り会い

## 本と出会う場所

平成21年1月にオープンした大洲市立図書館は、今年で5年目を迎えます。

その間、大洲市立図書館の利用者数は約67万1000人（平成24年12月末現在）となっていて、市民のみなさんから親しまれている施設であることが分かります。

大洲市立図書館では、最新の図書館情報システムを導入しています。長浜・肱川・河辺の各分館とシステムを接続することで、自分で各館が所蔵している本を調べたり、予約することができます。また、利用者自身で貸し出しや返却ができる機器を設置するなど、市民のみなさんが利用しやすい環境を整えています。

その他、2階にはAVコーナーが設けられていて、CD・DVDの視聴や館外貸し出しも行っています。

## 読書のすすめ

最近、あなたは本を読んでいますか。

図書館を利用したことがありますか。

「忙しくて図書館に行くことができない」「読書をする時間がない」という人もいるかもしれません。

でも、そんな時こそ、心を豊かにしてくれる読書がお勧めです。

かけがえのない本と出会う場所・図書館。

図書館に足を運んで、あなたにとって特別な一冊を見つけてみませんか。



数ある図書の中からお気に入りの本を探すのは、容易なことではありません。とっておきの本探し、本選びを図書館がお手伝いします。

## 本を探そう

大洲市立図書館の蔵書数は、約16万点（平成24年7月末現在）。市民のみなさんの要望に応え、図書館の本は年々増えています。

そんなたくさんの本の中から、お目当ての本を探すにはどうすればいいのでしょうか。分からないことがある場合や調べたいことがある時、読みたい本が見当たらない時は、気軽に職員に声をかけてみてください。

あなたの本探し、本選びのお手伝いをしてくれます。

また、長浜・肱川・河辺の各館の利用者端末、自宅のインターネット端末から市内全館の図書の検索も可能です。

## 予約・リクエストもできます

借りたい本が貸し出し中の時は、「予約」をすることができます。返却され次第、図書館から連絡されます。

また、借りたい本が図書館にない時は、「リクエスト」をすることができます。

新たに図書館で購入するか、他の図書館から借り受けたりと、できるだけ市民のみなさんのご要望にお応えします。

## こんな活動も行っています

大洲市立図書館では、子どもたちが本に親しみ、接する機会を増やし、親子をつなぐ架け橋になることを目的に、保健センター内でブックスタート事業や3歳児健診時の読み聞かせが行われています。



- 1 充実した蔵書
- 2 受付カウンター
- 3 インターネットコーナー
- 4 AVコーナー
- 5 コミュニティホール
- 6 なかよしの木（からくり時計）



4



1



5



2



6



3

- 1 長浜分館
- 2 脇川分館
- 3 河辺分館
- 4 ブックスタート事業
- 5 紙芝居  
(プラタナスの会)
- 6 読み聞かせ  
(おはなし玉手箱)

おはなし会の参加に事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

- 【おはなし玉手箱】**
- ▽開催日 毎月第3土曜日
  - ▽時間 午後2時30分から40分程度
  - ▽場所 大洲市立図書館2階
  - ▽対象者 おはなしのへや  
幼児〜小学校低学年
  - ▽内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど

- 【プラタナスの会】**
- ▽開催日 毎月第1水曜日
  - ▽時間 午後2時30分から40分程度
  - ▽場所 大洲市立図書館1階  
コミュニティホール
  - ▽対象者 幼児
  - ▽内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び、季節の工作など

特に館内では、「プラタナスの会」と「おはなし玉手箱」の2つのボランティアグループによる「おはなし会」が毎月開催されています。



私たち司書の仕事は、主に図書の収集・整理・保存・閲覧などの専門的な事務を行うことですが、利用者からのご相談にも、丁寧に応対するよう心がけています。

利用者と一緒に本を探して、見つかった本を手にした利用者から感謝の言葉をいただくと、とてもうれしく思います。

最近、「読書離れ」という言葉をよく耳にします。また、中学・高校生の図書館の利用者数が少ないように感じます。

図書館では、ブックスタートや読み聞かせなど、小さい頃から本と接する機会を提供する事業を展開しています。幼少期から活字に慣れ親しんでもらい、本の面白さを家族みんなで楽しんでもらいたいと思います。

また、図書館は読書をするだけでなく、調べ物をしたり、知識を深める場所でもあります。できるだけ多くの人に、図書館の良さを知ってもらいたいと思っています。

## “大切な本との出会い 私たちがお手伝いします”



大洲市立図書館司書

新口 昭江 さん

上甲 千尋 さん 宇都宮 奈央 さん

## 司書のおすすめ図書！ 必見です。



(YA)  
「絶望の隣は希望です！」  
やなせ たかし／著  
出版：小学館

アンパンマンが世に受け入れられるまでの半生、今だからこそ語れる波瀾万丈の人生とは。くじけずに生きぬくことの尊さを教えられる一冊です。



(一般) シニアコーナー  
「97歳の幸福論。」  
笹本 恒子／著  
出版：講談社

97歳、現役カメラマン 笹本恒子さんの衣食住のアイデア満載。元気で楽しく生きるとは？読むと元気が沸いてくること間違いなしです。

(一般) 小説  
「旅猫レポート」  
有川 浩／著  
出版：文藝春秋

ある理由から飼猫ナナを手放すことになったサトルは、飼い主を探すために、懐かしい人々を訪ねる旅に出ます。青年と猫の心にしみるロードノベルです。



(児童) 絵本  
「だるまちゃんとてんぐちゃん」  
加古 里子／作・絵  
出版：福音館書店

てんぐちゃんの持ち物が次々と欲しくなってしまうだるまちゃん。その、思いを叶えようと一生懸命なだるまどん。何度読んでも、新鮮でユーモアあふれる絵本です。





大洲市西大洲

小川 智美<sup>ともみ</sup>さん 璃久<sup>りく</sup>くん

小さい頃から本を読む習慣をつけて、視野を広げてほしい。

2週間に1度は、親子で図書館を利用しています。以前の図書館に比べ、きれいになってとてもうれしいです。利用される市民のみなさんも、増えているのではないかと思います。

また、職員のみなさんもとても丁寧で、笑顔であいさつをしていただくなど、清々しく感じています。

借りるものはDVD・絵本・紙芝居などで、子どもに本と接する機会をつくるようにしています。特にDVDは品揃えが豊富で、とても助かっています。

図書館では、定期的に「おはなし会」なども開催されていて、できるだけ参加するようにしています。自分では、どうしても偏った本を選びがちですが、「おはなし会」では違った視点から本を選び、お話ししていただけます。子どもも「おはなし会」を楽しみにしているようです。

親が図書館に足を運ぶと、子どもも図書館に行くことに抵抗がなくなると思います。今後成長する過程の中で、子どもには、図書館を利用することで、親から与えられるものだけではなく、自分から読み取り、周囲からいろいろな知識や経験を身につけてほしいと思います。

そうすることによって、自分の視野・世界を広げていてもらいたいです。



大洲市平野町

山本 智彦<sup>とし ひこ</sup>さん

あらゆる本が楽しめる憩いの場です。

私は、農業をしている傍ら、週に1・2回図書館を訪れています。市立図書館の設立当初から通っていて、いつも楽しい時間を過ごしています。

市立図書館の良いところは、駐車場が広いことです。市内だけではなく、市外から訪れる人も駐車場の心配をすることなく、気軽に立ち寄ることができます。他にも、本の種類の多さはもちろんですが、清潔感ある館内や空調などの環境設備にも満足しています。ここでは親子連れだけではなく、年配の人や学生が利用する光景も多く見られ、幅広い年齢層にとって過ごしやすい空間になっているのだと感じています。

図書館は、本と出会う場所であるとともに、人と出会える場所でもあります。偶然に知人に出会うこともあれば、新しく友人ができることもあります。本と本だけではなく、人と人をつなげることも、図書館の魅力の一つだと思います。

また、新しい知識を広げ、未知の分野に触れることができる絶好の場であると思います。市内に、これほど完備された図書館があることは幸せなことです。

まだ訪れていない人はぜひ一度、立ち寄ってみてください。きっと、自分だけの楽しい時間があるはずです。



図書館に出かけて、人生の一冊を探してみましよう。

読みたい本が、きっと見つかる場所、図書館。

本は私たちに、多くの感動と刺激を与えてくれます。もしかすると、本との出会いが、あなたの人生を変えるきっかけになるかもしれません。

本を読んで、泣いたり笑ったり、慰められたり、考えさせられたり。

一冊の本との巡り会い。それは大切な人との出会いに通じるものがあります。